

大阪弁護士会館

正会員 江 副 敏 史 君

ガラスボックスを覆う格子状の構造体が特徴的であり、弁護士会の透明性・開放性を象徴する外観となっている。透明感あふれる上品な外観デザインは、水都大阪の周辺景観とよく調和しており、新しい大阪の顔として強いイメージを放っている。外殻構造を構成する柱・梁は幅 450mm×高さ 450 mm×奥行き 225mm の大型陶板で覆われた繊細な部材で、深い軒となって日射を遮り空調負荷を低減させる効果も期待されている。1.4m の軒の深さは日影計算と空調負荷計算により決定された。

この特徴的な外観を実現させたのは、最新の制震技術と耐火安全検証の成果である。既存地下躯体を利用して構築された新設地下躯体に制振ダンパーを集中配置して、地上フレームに伝わる地震力を低減した「ソフトファーストストーリー」の考え方が実現されている。

構造柱は外部外周部のみとし、また耐震要素を集約配置することにより、内部はフレキシビリティに富んだ無柱空間となっており、大阪中之島の眺望を重視し、自然光を建物隅々まで取り入れた心地よい場となっている。また、構造体をデザインし、煉瓦、陶板およびアスロックを素地のまま表現したインテリアは、シンプルで緊張感ある内部空間を提供している。1,2 階吹抜けのアトリウムにある透かし煉瓦スクリーンは、高さ 8m、長さ 46m の規模のもので、自然光の陰影を際立たせ、落ち着いた魅力的な空間となっている。

環境保全も重要なテーマとして設計で配慮されている。既存地下躯体の再利用、日射を防ぐ深い庇、屋上設置の太陽光発電パネル、クール・ヒートチューブ、人感・照度センサーによる照明・空調制御など様々な省エネルギーシステムを効果的に取り入れ、CASBEE 大阪を取得した。

独創的なデザインと高品質の建築を実現した設計者の熱意・手腕、そして高い技術に敬意を表したい。

よって、ここに作品選奨を贈るものである。